

特別養護老人ホーム 三愛園 しおかぜ便り

令和4年2月号

立春とは申しますが、まだ寒さ厳しい日が続いております。皆様、いかがお過ごしでしょうか。節分で厄を払った次の日の立春は、暦上で春が始まる日であり、昔の人にとって1年のスタートでもありました。皆様、「立春大吉」という言葉を目にしたことはありませんか？

立春の日の早朝に厄除けとして「立春大吉」と書いたお札を門に貼り出す習慣があるそうです。この「立春大吉と」という字、左右対称になっていて表から見ても裏から見ても、「立春大吉」と読めますよね。そこで、そのお札を貼ってある家に入った鬼が、振り返って、裏から「立春大吉」という文字を目にし、「あれ？この家にはまだ入ってなかった！」と勘違いをして出ていくという、鬼の勘違いを利用した厄除けと言われているそうです。

そして、この「立春大吉」という言葉から生まれたお菓子が「立春大福」なんだそうです。縁起良さそうですね。季節を大切に作る日本に生まれて本当に良かったな～と思います。

梅の花もほころぶ季節となりました。お散歩して春を感じてみてはいかかでしょうか。さて、新型コロナウイルスやインフルエンザとまだまだ予断を許さない状況でございますが、1日でも早く収束に向かうことを祈りながら日々感染予防に努めてまいります。

何かと不便の多い日が続きますが、皆さまのご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

1月のふれあいデーは誕生会と茶話会でした！！

